

事業項目詳細

観光

「関西ツーリズムグランドデザイン 2021」にもとづく取り組み

IR／MICE

IR／MICE 誘致の推進と都市魅力の向上

まちづくり

夢洲や新大阪をはじめとする魅力あるまちづくりに向けた働きかけ

文化

関西各地の歴史・文化などの魅力・はなやか関西を活用した関西ブランドの発信

主な実施内容

●都市・文化・観光委員会に「中長期的なインバウンド振興検討ワーキンググループ (WG)」を設置し、関西観光本部が2018年度に策定した「関西ツーリズムグランドデザイン 2021」の達成に向けた取り組みの支援に加え、中長期的な課題と対応策の検討を行った。

●大阪府・市が主催する「IR推進会議」「大阪MICE推進会議」等において、IRの送客機能等に関して意見発信し、その内容が「大阪IR基本構想」に反映された。  
●関西におけるMICEの振興に向けて、「京阪神MICE 3都市会議」に参画し、関西広域での誘致体制の構築や受け入れにあたっての協力等連携強化に向けた提案を行った。

●夢洲で実現すべきまちづくりと、それに向けた8つの戦略および備えるべき都市機能をとりまとめた「夢洲まちづくり基本計画への提案」を公表(4月)し、大阪府・市・経済界による「夢洲まちづくり基本方針検討会」等において主張が反映されるよう働きかけた。  
●夢洲でのスマートなまちづくりに向け、政府の「スーパーシティ」構想における「自治体アイデア公募」に対し、都市創造専門委員会ワーキンググループ (WG) で検討のうえ、大阪府・市へ意見発信を行った。  
●関西の拠点性向上に向け、新大阪駅周辺地域の整備のあり方を検討する官民協議会「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会」において、地域の担うべき役割や必要な都市機能等について提案し、まちづくり基本方針の骨格に関経連の意見が反映された。

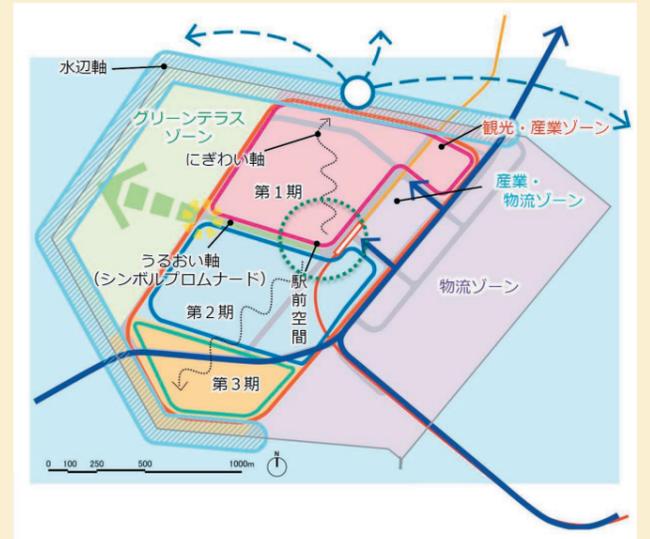
●文化庁や関西観光本部と連携し、文化を通じて関西から日本を明るく元気にすることに貢献した人・団体に対し「関西元気文化圏賞」を贈呈する等、関西の文化振興に資する活動を展開した。  
●関西観光本部と歴史街道推進協議会との連携事業の具体化に向けて検討を行った。  
●都市魅力の向上に向けて「水と光のまちづくり」への協力を行った。

Topics

万博のレガシーを活かしたまちづくりに向けて

2017年に大阪府・市・経済団体で策定した「夢洲まちづくり構想」をもとに、国際観光拠点形成に向けた基本方針をとりまとめるべく、2019年3月末に大阪府・市・経済団体による「夢洲まちづくり基本方針検討会」が発足。関経連の「都市創造専門委員会」では、2025年大阪・関西万博のレガシーを活かした夢洲全体のまちづくりビジョンや戦略等について、「夢洲まちづくり基本計画への提案」としてとりまとめ、4月に公表するとともに、本検討会で意見提起を行った。

12月に検討会内で策定された「夢洲まちづくり基本方針」では、万博で掲げる「未来社会の実験場」をレガシーとして活用するスマートシティの考え方や国際観光拠点にふさわしい土地利用・都市空間形成等について、関経連の意見が反映された。引き続き「スーパーシティ」構想等の新たな特区制度の活用も含め、夢洲でのスマートシティ実現に向けた仕組みを検討していく。



夢洲まちづくり基本方針より抜粋

新大阪駅周辺地域のまちづくりに関する意見提起

2018年8月、十三や淡路を含む新大阪駅周辺地域が、都市再生緊急整備地域の「候補地域」に国から指定されたことを受け、大阪府・市・経済団体等による、まちづくり方針の検討や開発気運の醸成を目的とした「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会」が2019年1月に発足した。

新大阪駅周辺地域の整備には、リニア中央新幹線、北陸新幹線の大阪延伸も関係するため、関経連では「国土・広域基盤委員会」および「都市創造専門委員会」で議論し、①西日本最大の交通結節点としての機能強化を最優先すべき、②広域的な視点から他地域との機能重複や二重投資を避け、交通結節点やスタートアップ拠点の集積といった地域の特徴を活かし、次世代モビリティ等を活用した「未来型の交通結節拠点」をめざすべき、等の意見をまとめ、本協議会において意見提起した。引き続き、まちづくり方針の策定に向け、検討を進めていく。

○ 大阪都心部の都市再生緊急整備地域 (候補含む)



新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会協議資料より抜粋